一般社団法人
山口県作業療法士会

一般社団法人 山口県作業療法士会

それっちゃ Yamaguchi

No.360

それっちゃデジタル版

巻頭言 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
研修会案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
部会・部局より ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
事務局より ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
理事会報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
しっちょる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
編集後記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

巻頭言

新年のご挨拶

一般社団法人　山口県作業療法士会
会長　木下　大介

会員の皆様、そして関係各位におかれましては、清々しい令和 8 年の新春を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年、令和 7 年は、私たち作業療法士（OT）の専門性が、県内の地域課題解決に直結した、実りの多い一年となりました。高齢化が進行する山口県において、OT の役割は、従来の医療・介護の枠を超え、「地域共生社会の実現」という社会的な要請に応える形で大きく広がっています。その具体的な成果として、以下の活動にご尽力いただいた会員の皆様に心より感謝申し上げます。

阿東徳地地域訪問型 C の受託：高齢者の自立支援と重度化予防を図る短期集中予防サービス（訪問型 C）について、山口市より阿東・徳地地域での事業を県士会として委託いただく運びとなりました。これは、地域住民の生活課題に対し、OT が組織として積極的に関与し、「作業」の視点から生活機能の改善に貢献できることが行政に評価された証であり、他自治体へのモデルケースとしても大きな一歩になると思っています。

JAF 山口支部との包括協定締結：高齢者の運転に関する社会問題が増す中、本会は JAF（日本自動車連盟）山口支部様と高齢者の事故防止活動推進に関する包括的な協定を締結いたしました。自動車運転に必要な認知機能や身体機能の評価、そして安全な運転継続に向けた生活環境への助言という、OT ならではの知見を、交通安全という社会インフラの領域に活用できることは、本会の社会的なプレゼンスを高める大きな出来事です。

5 歳児健診への関与：子どもたちの発達支援においても、数カ所の自治体より 5 歳児健診への OT の関与について具体的な打診をいただいております。生活（遊び）の中での発達の偏りや課題を早期に発見し、適切な支援につなげる「作業の視点」への期待が高まっていることを実感しました。

本年、令和 8 年は、これらの活動で得た実績と信頼を土台に、作業療法の価値を山口県全域の地域社会に広げて参りたいと思います。

私たち作業療法士は、人々の「したい生活」の実現を支える、生活（作業）の専門家です。目の前の利用者の方々、そして「地域社会をつくる」担い手としての役割を持ち、本年も共に歩んでまいりましょう。

会員の皆様のより一層のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

研修会案内

県士会主催の研修会案内

「精神部会研修会」のご案内

この度、精神部会では研修会を行うことと致しました。
人間作業モデルは、作業療法の中でも世界的にどの文化圏においても臨床実践を含む理論として使用され続けています。今回はこの分野でご活躍されている青山克実先生をお招きし、一緒にクライエント中心の治療実践を考える機会にしたいと考えています。
久々の対面方式の良さを活かして、講義以外にもグループワークを通した直接の交流や学びの機会をご準備しています。専門の講習会以外で受講できる機会も限られているため、領域を問わず皆様のご参加をお待ちしています。

1. 日　　時：令和 8 年 1 月 24 日（土） 14 時～16 時 30 分 （受付 13 時 30 分～）
2. 会　　場：下関病院附属地域診療クリニック　3 階講堂（対面式）
3. テ ー マ：「人間作業モデルに基づく作業に焦点を当てた精神科作業療法」
4. 講　　師：九州栄養福祉大学　リハビリテーション学部作業療法学科
   教授　青山　克実先生
5. 参 加 費：山口県作業療法士会　会員 1000 円　　非会員 5000 円
6. 基礎研修ポイント：2 ポイント　　※非会員の方はポイントの付与はありません

申し込み後、担当より支払いのご案内メールを送信いたします。PassMarket を通じての支払いとなります。

【注意事項】

PassMarket の利用にはヤフーID の取得が必須になります。ヤフーＩＤを取得の上ご利用ください。できるかぎりヤフーID の取得をお願いします。ヤフーＩＤの取得ができない方は、メール（ymgc-ot@ymgcot.onmicrosoft.com）か、電話（083-920-0171）で事務局にお問い合わせ下さい。
振込口座を連絡致します。原則として参加費の返金は致しかねます。万が一返金が必要となった場合は手数料を差し引いて返金させていただきます。

※原則としてキャンセルされないようお願い致します。

7. 申込期間：令和 7 年 12 月 1 日（月）～令和 8 年 1 月 15 日（木）
8. 申込方法：下記 URL または QR コードより必要事項を記入して下さい。
   https://forms.gle/ugb4nhYZ9bRaTHqE7
9. 問合せ先：下関病院　診療支援部　作業療法科　田名橋　佳伸

申込用 QR コード

※連絡事項:

① 申込アドレスに、zoomID とパスワード・PassMarket をご案内予定です。連絡の取れるアドレスでお願いいたします。
② 申込後、確認用のメールが送信されます。届かない場合は、申込時のメールアドレスが違っている可能性がありますので、再入力をお願いします。
※google.com からのメールがブロックされないよう設定をお願いします。何度入力しても確認メールが届かない場合は、担当者へお問い合わせ下さい。
③ 複数回入力された場合は、最後の入力を有効とさせていただきます。

④　申込時の会員情報(会員番号･氏名等)は、日本作業療法士協会に登録したものと同じものを入力してください。以下の URL より確認をお願いします。
https://www.jaot.net/mm/#/login　適切に入力されないと生涯教育システムへ登録出来ません。

⑤　研修会中の画面を録画させていただく場合がありますので、ご了承下さい。個人情報の保護については、会の方針に則り適切に運用させていただきます。

⑥　研修会受講時には当該年度有効の県士会会員証と協会会員証を提示してください。会費納入が遅れ、会員証を受けとってない方は振込受領書を提示して下さい)。提示が出来ない場合は生涯教育ポイントの発行は出来ません。

「令和７年度こども支援委員研修会」のご案内

この度、こども支援委員会では大分県作業療法協会で健診に参画をされている永松謙一先生にご講義いただきます。山口県内においても５歳児健診を中心に作業療法士への依頼がきております。今回の講義で健診に対する状況と作業療法士の参画に対するイメージを持つ機会になればと考えています。発達領域に関わらず多くの県士会員の皆様に参加いただければと思います。
Zoom での web 研修会といたします。当日 Zoom の操作など必要となりますので、事前に準備をお願いいたします。研修を運営するにあたり、皆様にもご協力をいただく点もありますが、多くの学びや気づきにつながるよう、より多くの皆様に参加いただけるようよろしくお願いいたします。

記

1.　日　　時:令和８年２月１日(日)　10 時～12 時　(受付９時 30 分～)
2.　会　　場:オンライン研修(Zoom)　「ミーティング ID」「パスコード」等は、後日連絡いたします。
3.　対 象 者:県士会員、県士会員外問わず
4.　テ ー マ:「Zoom でつなぐ！市町村別５歳児健診の実務と多職種協働」
5.　講　　師:大分県作業療法協会　常務理事　作業療法士　永松謙一　先生
(所属:医療法人　謙誠会　博愛病院　博愛こども発達センター　たくみのお城 I)
6.　参 加 費:山口県作業療法士会員:500 円、県士会員外:2,500 円
支払方法:申し込み後、担当より支払いのご案内メールを送信いたします。PassMarket を通じての支払いとなります。

【注意事項】
PassMarket の利用にはヤフーID の取得が必須になります。ヤフーＩＤを取得の上ご利用ください。できるかぎりヤフーID の取得をお願いします。ヤフーＩＤの取得ができない方は、メール(ymgc-ot@ymgcot.onmicrosoft.com)か、電話(083-920-0171)で事務局にお問い合わせ下さい。
振込口座を連絡致します。原則として参加費の返金は致しかねます。万が一返金が必要となった場合は手数料を差し引いて返金させていただきます。
※原則としてキャンセルされないようお願い致します。

7.　支払期間:令和７年 12 月 19 日(金)～令和８年１月 25 日(日)
8.　申 込 方 法:(https://forms.gle/e5rA2e7VMdoz7E1q8)より必要事項を記入して下さい。
下に添付の QR コードからも申込可能
9.　申込期間:令和７年 12 月 18 日(木)～令和８年１月 23 日(金)
10.　問合せ先:山口県作業療法士会　地域共生社会推進部　こども支援委員会　委員長　上田純也(所属:山口リハビリテーション病院)　E-mail:uedajunya11@gmail.com　当日連絡用 TEL:050-3199-1570

申込み

※連絡事項:

① 申込アドレスに、zoomID とパスワード・PassMarket をご案内予定です。連絡の取れるアドレスでお願いいたします。

② 申込後、確認用のメールが送信されます。届かない場合は、申込時のメールアドレスが違っている可能性がありますので、再入力をお願いします。
※ google.com からのメールがブロックされないよう設定をお願いします。何度入力しても確認メールが届かない場合は、担当者へお問い合わせ下さい。

③ 複数回入力された場合は、最後の入力を有効とさせていただきます。

④ 申込時の会員情報(会員番号・氏名等)は、日本作業療法士協会に登録したものと同じものを入力してください。以下の URL より確認をお願いします。
https://www.jaot.net/mm/#/login　適切に入力されないと生涯教育システムへ登録出来ません。

⑤ 研修会中の画面を録画させていただく場合がありますので、ご了承下さい。個人情報の保護については、会の方針に則り適切に運用させていただきます。

⑥ 研修会受講時には当該年度有効の県士会会員証と協会会員証を提示してください。会費納入が遅れ、会員証を受けとってない方は振込受領書を提示して下さい)。提示が出来ない場合は生涯教育ポイントの発行は出来ません。

第 16 回山口県訪問リハビリテーション実務者研修会　開催要項

本研修会では、「地域で支える転ばない暮らし～在宅リハビリの力と他職種連携」「明日から実践！循環器疾患患者に対するリスクマネジメント」の２つをテーマに掲げています。地域で暮らす高齢者が安心して生活を続けられるよう、在宅リハビリの実践力と他職種連携の重要性を学ぶとともに、循環器疾患を有する方への安全な介入に必要なリスクマネジメントの知識を深めることを目的とします。明日からの現場で活かせる内容を通して、地域を支える専門職としてのスキル向上を目指します。

1. 日　　程：令和８年１月 24 日（土）　9：30～16：00（受付開始 9:00）
2. 場　　所：対面のみ　山口コ・メディカル学院　　（山口県山口市富田原町 2-24）
   ※ 自動車でお越しの方は、学校向かいにある駐車場をご利用ください。
3. 対　　象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
4. 定　　員：50 名
5. 参 加 費：各県士会会員：1,000 円、会員外：2,000 円
6. 参加費支払方法：現金徴収とさせていただきます。受付時にお支払いをお願いします。
7. 取得単位：訪問リハ振興財団より受講証（管理者養成研修の参加要件）を発行します。
   理学療法士：ポイントの付与は、ありません。
   作業療法士：日本作業療法士協会の会員の方は、生涯教育ポイントの対象となります。
   言語聴覚士：日本言語聴覚士協会の会員の方は、生涯教育プログラムのポイントが取得できます。
8. 参加お申込み
   以下のURL・QRコードより必要事項を記入の上、お申込みください。
   https://forms.gle/HnF12zN2XLQHPEwEA
9. 申込受付期間:令和７年 12 月５日(金)～ 令和８年１月 16 日(金)

主　催　　一般社団法人山口県理学療法士会
共　催　　一般社団法人山口県作業療法士会、一般社団法人山口県言語聴覚士会

第 16 回山口県訪問リハビリテーション実務者研修会プログラム

9：00～　受付開始
9：25　開講式・オリエンテーション

【第１部】　講義　9：30 ～ 11：00　（途中休憩を含む）
テーマ　「 地域で支える転ばない暮らし～在宅リハビリの力と他職種連携～」
講師：老人保健施設はくあい
岡﨑　浩之 氏（理学療法士）

【第２部】　福祉用具展示　11:00～12:30
講師：有限会社アイフィット山口
高橋　登　氏

【第３部】　講義/実技　13：30 ～ 16：00　（途中に休憩を含む）
テーマ　「 明日から実践！循環器疾患患者に対するリスクマネジメント」
講師：鳥取大学医学部附属病院
曽田　武史　氏（理学療法士）

16:00～　閉講式

※連絡事項

① 申込時のメールアドレスは、当日送受信ができる個人のメールアドレスでお願いします。
② 申込後、確認用のメールが送信されます。届かない場合は、申込時のメールアドレスが違っている可能性がありますので、再入力をお願いします。
「@ybb.ne.jp」「@google.com」からのメールがブロックされないよう設定をお願いします。
1.　何度入力しても確認メールが届かない場合は、担当者へお問い合わせ下さい。
③ 複数回入力された場合は、最後の入力を有効とさせていただきます。
④ 作業療法士の方は申込時の会員情報（会員番号・氏名等）は、日本作業療法士協会に登録したものと同じものを入力してください。以下の URL より確認をお願いします。
https://www.jaot.net/mm/#/login　適切に入力されないと生涯教育システムへ登録出来ません。
⑤ また、研修会受講時には当該年度有効の県士会会員証と協会会員証を提示してください。会費納入が遅れ、会員証を受けとってない方は振込受領書を提示して下さい。提示が出来ない場合は生涯教育ポイントの発行は出来ません。
⑥ 研修会中はビデオ撮影させていただく場合がありますので、ご了承ください。個人情報の保護については、会の方針に則り適切に運用させていただきます。

その他、ご不明な点等ございましたら、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ先：山口県理学療法士会　社会保険部　岩神理奈
e-mail：yamaguchi.houmonreha@gmail.com

令和７年度

第１回周南・柳井地区勉強会

(地域支援事業フォローアップ研修)

お世話になっております。周南・柳井地区勉強会のお知らせです。

日時：**令和８年１月23日（金）19：00～20：30**

場所：**徳山中央病院**　　対 象 者：作業療法士

内　容：地域リハの裏側会議

～制度だけじゃ語れない、現場のリアル～

「この研修は、“地域リハのリアルな声”を聞く会です」

①地域支援事業に従事しているセラピストのトークセッション

地域活動・通いの場・地域ケア会議・サービスＣなどの現場 OT が「失敗談／苦労したこと／やってよかったこと」を語る

トークセッション　発言者

御書正宏(周南リハビリテーション病院)：地域ケア会議について

万田祥秀：(周南リハビリテーション病院)：通いの場について

中村敏浩：(周南高原病院)：訪問サービスＣについて

②グループセッション：あなたの“地域リハあるある”は？

今年度も周南・柳井地区勉強会を山口県作業療法士会地域リエイブルメント推進委員会と協働で対面にて開催することにいたしました。今回は「地域支援事業フォローアップ研修」として、地域リハの現場での「あるある」や苦労・工夫を共有し、制度だけでは見えない支援のリアルを語り合う研修です。実践報告とグループワークを通して、地域支援への新たな視点と意欲を育みましょう！

参 加 費：作業療法士会員　無料　　OT 非会員：500 円

申込方法：　下記 QR コードよりお申し込みください。　申込〆切：令和８年１月20日（火）

ＯＴ基礎ポイント：参加により１ Ｐ付与

参加希望のお申込み・連絡先

医療法人社団　生和会　周南リハビリテーション病院　リハビリテーション部　作業療法士　御書正宏

TEL：080 - 5608 - 7321　　Mail：yot.shunan.yanai@gmail.com

****

他団体主催の研修会案内

第 13 回中部日本ハンドセラピィ研究会
共催：第 43 回中部日本手外科学会

1. テ ー マ：医師と共に先輩から後輩へ知識・技術を伝えていく
2. 会　　期：令和８年１月 24 日（土）
3. 場　　所：岡山コンベンションセンター
4. U　R　L：https://sites.google.com/view/13chubuhandtherapy
5. 広報用 QR コード：

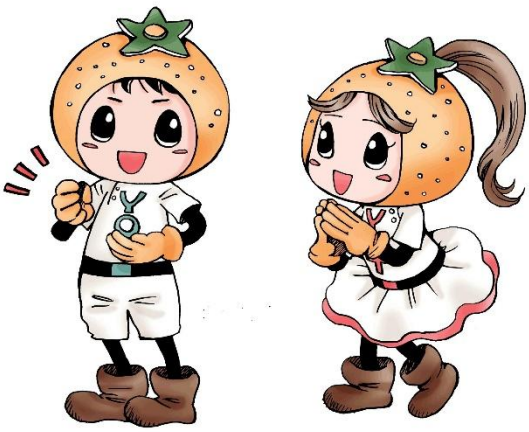
6. 内　　容：

特別講演　『術後屈筋腱断裂ゼロを目指した橈骨遠位端骨折掌側ロッキングプレート固定術』
　神田俊浩先生（一宮西病院　手外科部長/マイクロサージャリーセンター長）
教育講演　『橈骨遠位端骨折に対するハンドセラピィの実践』
　山田玄太先生（愛野記念病院）
合同シンポジウム　『屈筋腱断裂とハンドセラピィ』
　医師：山本美知郎先生（名古屋大学　人間拡張・手の外科学）
　セラピィ：茶木正樹先生（中日病院）
　　：古田裕之先生（飯田市立病院）
　　：谷口しのぶ先生（安城更生病院）
海外特別企画　『ハンドセラピィから見たアメリカ』
　Kazumi 広江 Keener（MedStar Health）
エキスパートセッション
『Stiff elbow に対する装具療法の考え方』
　蓬莱谷耕士先生（関西医科大学）
『動態を考慮した手関節疾患に対するリハビリテーション』
　椙田芳徳先生（山口県済生会下関総合病院）
『手指外傷の考え方』
　米田香苗先生（聖隷浜松病院）
『研究成果を発信する』
　伊達翔太先生（広島大学）

第 17 回 維新リハビリテーション研究会　開催のお知らせ

平素より当研究会にご支援頂きまして誠にありがとうございます．
第 17 回 維新リハビリテーション研究会を下記の通り実施致します．要項をご一読のうえ，下記 QR コードより参加案内希望のご登録をお願い致します．ご登録頂きましたアドレスに当日の案内をお送りいたします．前回の募集にてご連絡を頂いた先生は，ご登録は不要です．

1. 日　　時：令和 8 年 2 月 18 日（水）　18:30 から 20:00
2. 開催形式：Web（ZOOM）
3. 参 加 費：無料
4. 生涯教育：日本作業療法士会　基礎ポイント 1 ポイント
5. 内　　容：脳神経外科　各論：「脳血管障害における予後予測②」18:30～19:00
   整形外科　総論：「手関節の解剖」 19:00～19:30
   整形外科　各論：「肘関節の疾患」19:30～20:00
6. 講　　師：
   御書　正宏：周南リハビリテーション病院
   認定作業療法士
   椙田　芳徳：済生会下関総合病院
   認定ハンドセラピスト　認定作業療法士　骨粗鬆症マネージャー
7. 注意点：
   1．参加証明書配布のためインターネット環境下の PC で参加をお願いします．
   2．１名につき１つのアドレスでご登録下さい．
   3．病院，施設などのアドレスは避け，個人のメールアドレスをご登録ください．
   4．複数人での視聴は可能ですが，ポイントはご登録のアドレスの方のみとなります．
   5．講義中に提示したスライドなどの資料配布はありません．
8. 問い合せ先：
   維新リハビリテーション研究会　森脇　善幸（もりわき　よしゆき）
   メールアドレス：ishin.rehabili@gmail.com

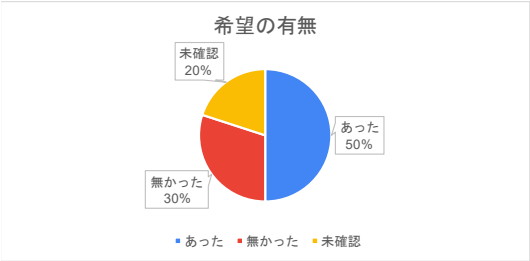


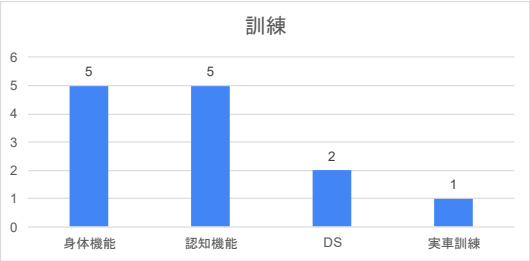
部会・部局より

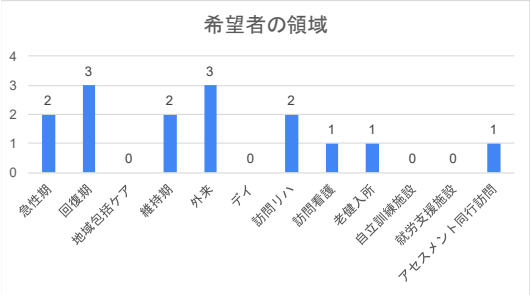
運転と地域移動支援委員会だより
～施設状況アンケートの結果③～

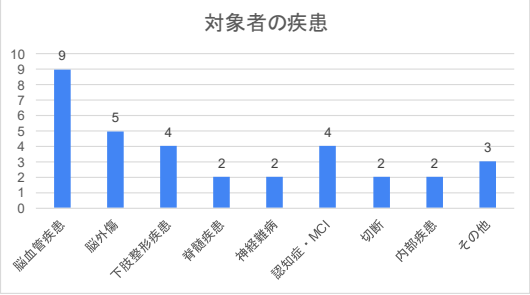
前回に引き続き、各施設代表者のみなさまにご協力いただいているアンケート調査の結果です。11月号から順番に、各地区のアンケート結果について掲載しています。今月は、山口地区です。
各地区の傾向の把握や施設の取り組みなどの参考にしていただけたらと存じます。

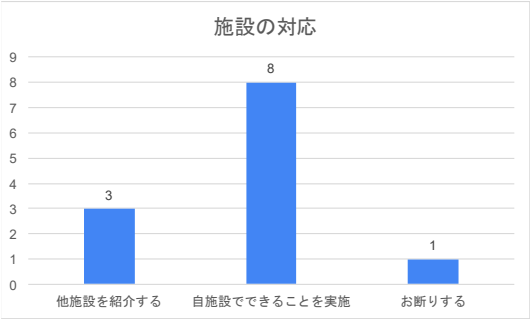
【山口地区】　回答：20 件/56 施設（35.7%）

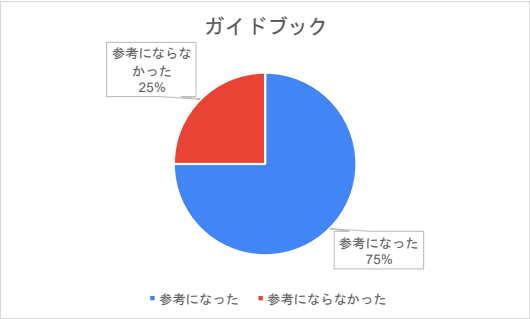


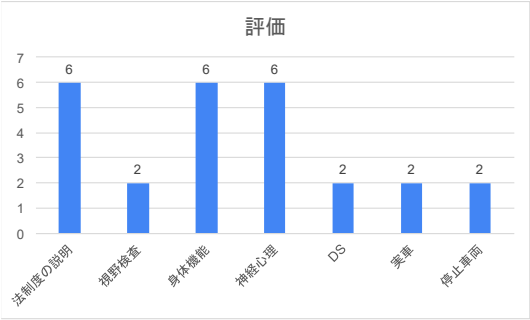


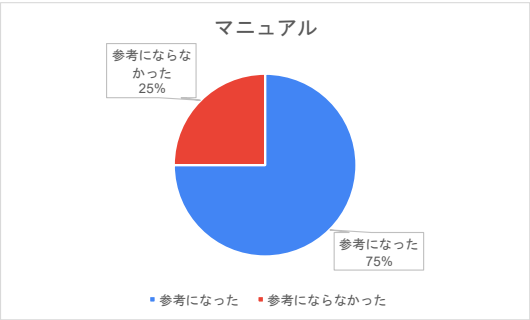












※それぞれの傾向については、回答率が低く単純に前回結果との比較が行えないため、最後に全体のまとめとして案内できればと思います。

※いったん 8 月末時点の結果をお伝えしていますが、全体の回答率が 32.6%ですので、引き続き回答のご協力をお願いできればと思います。

※アンケートの対象は、会員所属施設（全 218 施設）としています。

※回答したかどうかわからないという施設の方は、重複しても構いませんので、回答をお願いします。

※他県では、がん患者や介護保険領域での運転支援報告や精神科領域の取り組み、行政事業での相談事例等、少しずつ運転支援に関する報告の領域も拡大している様子があります。また、山口県においても他団体の取り組みではありますが、総合支援学校へのサポートなども報告されています。今後の事業計画にも参考にさせていただけたらと考えていますので、引き続き回答のご協力をお願いいたします。

回答フォーム　　QR コード
https://forms.gle/dqBErEbhM1ps5Xv87

お問い合わせ先
e-mail：drive.reha.yot@gmail.com

2025 年度広報部啓発活動
～レノファ山口ホームゲーム最終戦の報告 ～

３年連続開催！2025 年 11 月 29 日に行われたレノファ山口のホームゲーム最終戦で県士会が啓発ブースを設置しました。天候にも恵まれ、スタジアム周辺は試合開始前から多くのサポーターで賑わっていました。この度も学生ボランティアスタッフにも協力して頂き、啓発活動を行うことができました。

今年も大盛況！ 当日の来場者数は延べ 200 名以上の方が参加してくださいました。ブースの前には列ができ、子ども連れの家族や若いサポーター、ご年配の方まで幅広い方が訪れてくださり、多くの方々に作業療法の魅力や活動内容と地域活動の魅力を知っていただく貴重な機会となりました。当日の企画は、サッカーボーリング、レノファオリジナルキャラクターの塗り絵、「やーまん」「ぐっちん」との写真撮影ブース、作品展示、パンフレット配布など多岐にわたって実施しました。特にサッカーボーリングは子どもから大人まで大人気で、楽しそうな歓声が響き、ブース全体を盛り上げてくれる存在となりました。

展示では、こころの医療センターデイケアの皆様による「レノファ応援ボード」やアイロンビーズで作ったレノ丸やユニフォーム、サッカーコートなど、「かわいい」「写真撮らせてください」など足を止める方が続出していました。当日を迎えるまでには、各施設や学生ボランティアの皆さんが時間を割き、準備を重ねてくださいました。丁寧に準備を進めてくださっていたことを強く感じ、運営側として本当にありがたく、心強い気持ちでいっぱいになりました。また、見えないところでの多くの工夫と思いが詰まっていることを改めて実感しました。皆様と素晴らしい活動を実施できたとスタッフ一同実感しています。広報委員としてこうした温かい協力体制に触れる度に「こういった活動を続けていきたい」という思いが強くなります。この活動は今後も継続していきたいと考えておりますので、「興味のある」「手伝ってみたい」という方はぜひ来年度一緒に参加してください！皆様の参加が、笑顔につながり、活動の力になります！お待ちしております！

広報部：高田　憲侑（宇部西リハビリテーション病院）

【協力していただいた会員の声】
　今回、県士会啓発活動（レノファ山口対大宮戦イベント）に初めて参加させていただきました。
最終戦で会場は多くのサポーターで賑わっていました。県士会のブースもサッカーゲームや塗り絵などの作業を楽しむ人で溢れ、展示していた利用者様の作品に目を向け、写真を撮ったり作り方を聞く人もいるなど、活気のある楽しい空間でした。
また、参加していた学生さん達がレノファサポーターの方に積極的に声をかけ動く姿をみて、数年後一緒に働く仲間として頼もしさを感じました。
作業を提供する側もされる側も一緒に楽しみ、作った作品が他者に楽しさを生み出したりと、作業ってやっぱり素敵だなと感じた時間でした。

医療法人社団青寿会　武久病院　平田めぐみ

【養成校の学生の感想】
＜おごおり健康まつり＞
　実際に作業療法について説明してみて、自分の理解を深めることができました。また、ブロックパズルという遊びの中でも治療が行われている作業療法の魅力にも気づきました。多くの方とコミュニケーションを取ることができたので楽しかったです。　（S さん）

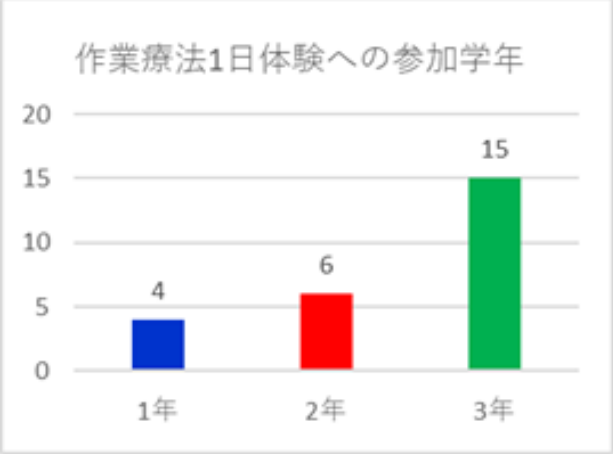
　たくさんの子供とブロックパズルをして、年齢も含めていろんな子供がいるんだなと改めて実感しました。そして、年齢やその子の状態に合わせて、ミッションを作って動機付けたり、一緒に完成させたりして臨機応変に対応することを学びました。声かけやすごいなどと褒めたりすることの大切さも学びました。（I さん）

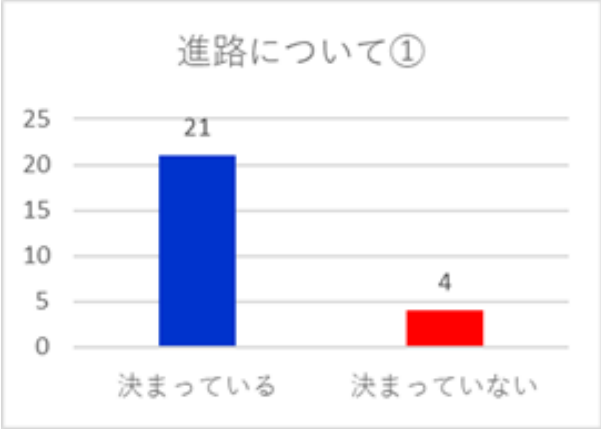
＜レノファ山口ホーム最終戦＞
　今回のボランティア活動を通して、幅広い年代の方々とコミュニケーションをとることができて非常に勉強になりました。作業療法士会のブースではサッカーボーリングと塗り絵を行っていたけれど子供だけでなく、大人の方も参加してくださり、作業療法士の活動は幅広い年代の方に楽しんでいただける活動ができるということを改めて実感することができました。（N さん）

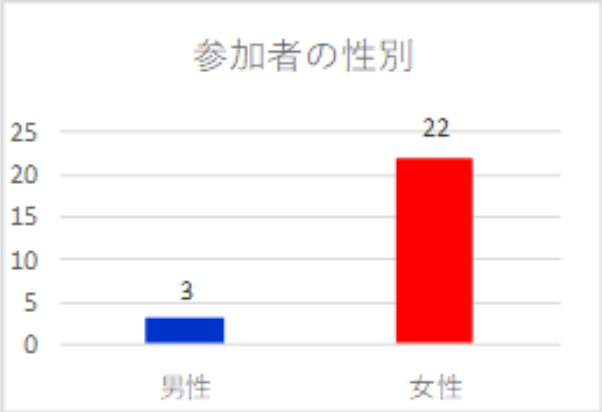
　実際に作業療法士の方から様々なお話を聞くことができ、参加してくださった方と様々な交流をすることができたので、とても良い経験になりました。活動に参加することで、作業療法士会の役割や啓発活動の大切さを実感することができました。　（K さん）

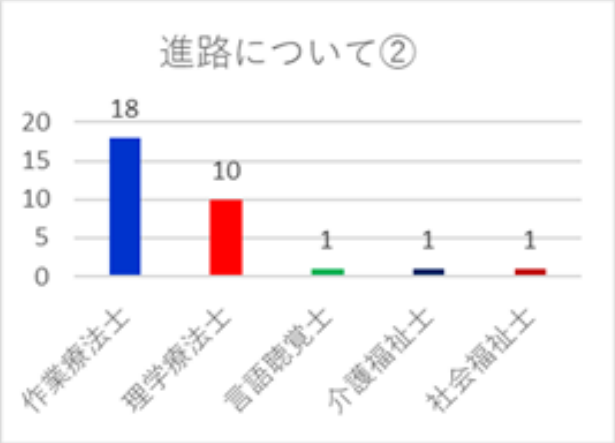
作業療法１日体験実行委員会より報告

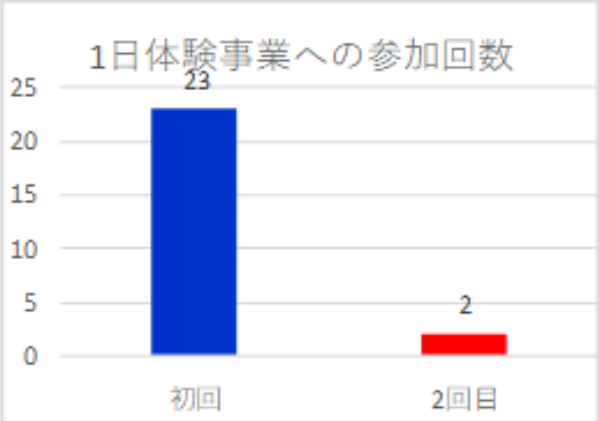
作業療法１日体験実行委員会です。
今年度、高等学校の夏季休暇中に行いました高校生作業療法１日体験事業ですが、実施後のアンケート集計ができましたのでご報告致します。
回答（11/12 施設　92%　25/30 名　83%）

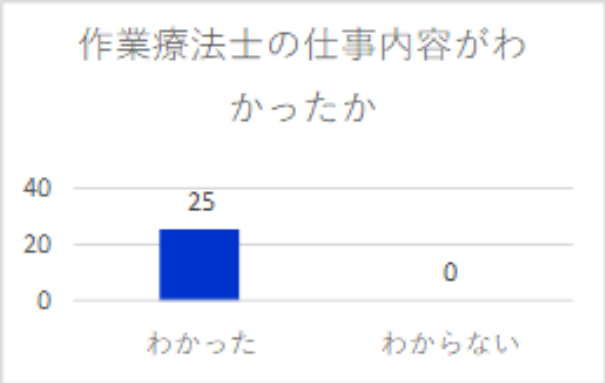


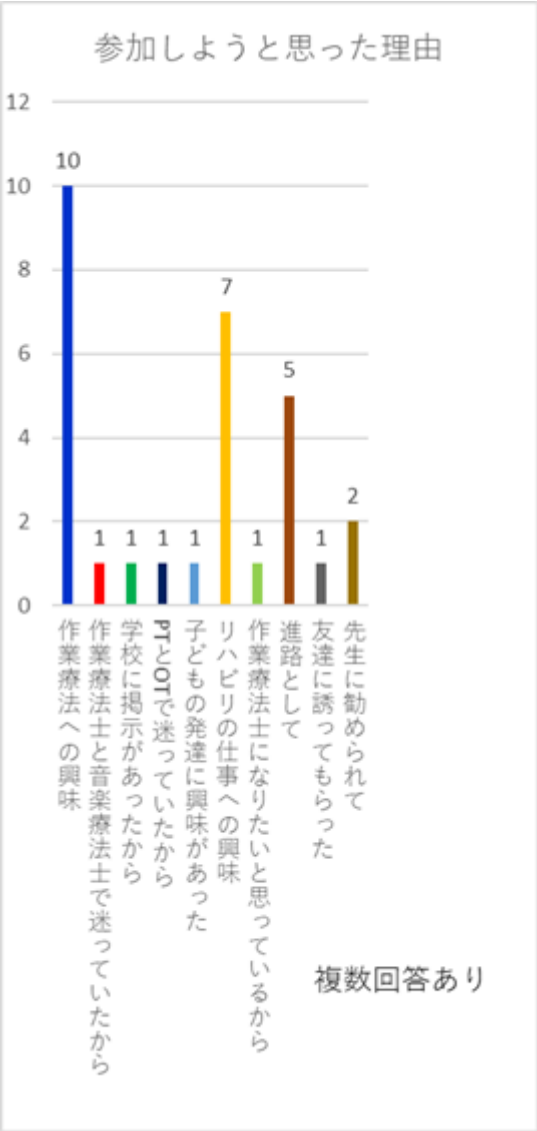


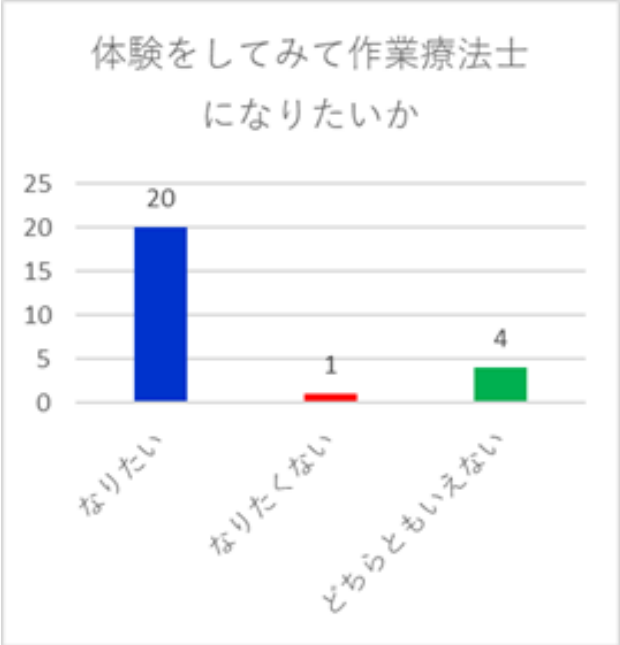












なりたい理由としては

・体験をしてみてやりがいがある。
・見学をしてみて作業療法に興味を持った。
・体験をさせてもらった作業療法士さんの様になりたいと思ったから。

等の意見が多かったです。
その他には患者さんと向き合っている姿がかっこよかったから。などもありました。

なりたくない理由としては

・進路が決定しているから

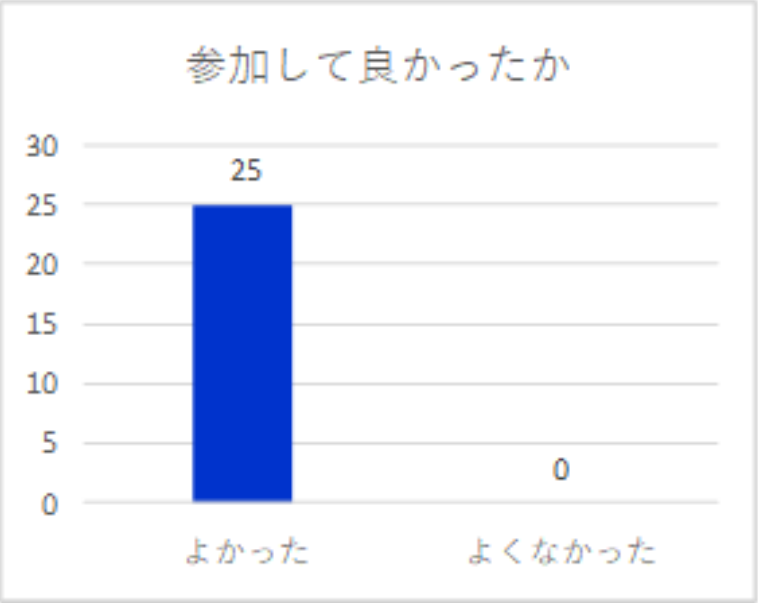
どちらとも言えない理由としては

・オープンキャンパスも参加して決めたい。
・他の仕事に進みたい
・まだ１年なので他の仕事についても調べてみたい。

と言うことでした。

体験をする前の作業療法士のイメージ（自由記載）

・リハビリをする人	10 名
・患者さんに寄り添ってあげる	3 名
・大変そう	1 名
・日常生活等の支援をする人	3 名
・生活に密着した作業を主としている	1 名
・心と体のメンタルケアをする	1 名
・こどもから高齢者まで幅広い患者さんと関わる	1 名
・大人数の患者さんとみんなで同じ事をする	1 名



参加して良かった理由

・リハビリをしている所を見て作業療法士になりたいと思えた	3 名
・作業療法士の仕事について知ることができた	21 名
・楽しかったから	2 名

以上が今回返送をしていただいたアンケート内容の結果になります。
高校生の中には作業療法士になりたい方や、友達の付き添い、進路選択のため、先生からのすすめなど様々な理由で体験に来られているようです。

アンケートからは体験された方全員が作業療法士の仕事内容が分かった、参加してよかった。という結果となりました。
業務等でお忙しいところ県士会会員の皆様には高校生への体験や見学の準備や機会をいただきありがとうございました。
体験を通して作業療法士という職業を進路選択の一つとして考えてもらえて良かったと思います。

事務局より

着文書

（R7.11.8～R7.12.9）
＜他県士会ニュース＞
山梨県作　ニュース　第 119 号
愛知県作　ニュース　№199
東京都作　ニュース　№225
鳥取県作　ニュース　№129
＜冊子＞
・島根県作業療法士会
　19 回島根県作業療法学会
・山口県訪問看護ステーション協議会
　山口県訪問看護ステーション協議会創立
　30 周年記念誌
・山口県病院協会　会員名簿
・テクノエイド協会　障害者自立支援機器
「ニーズシーズマッチ交流会 2025 開催案内」
・熊本県作業療法士会
　法人設立 30 周年記念誌
・新潟県作業療法士会　設立 40 周年記念誌

施設情報

事務局より（R7.11.8～R7.12.9）
施設情報
＜不在籍施設＞
（山口地区）
医療法人青葉会三好クリニック
＜所在地変更＞
（山口地区）
淵上整形外科
〒753-0214
山口県山口市大内御堀5丁目8番12号
TEL:083-922-6644　　FAX:083-923-6525
＜名称変更＞
（宇部小野田）
訪問看護ステーションいきいき参宮通り→訪問看護ステーションみなみかぜ

財務より

正会員の方へ本年度お送りした振込用紙は、すでに使用できません。
会費の納入がまだの方は、郵便局の振込用紙を利用して**至急**振込お願いします。
郵便局からお振込の方は指定の振込用紙に**金額 8,000 円**と記入し振り込んでください。
・会員証が届くまでは払込受領証を必ず保管しておいてください。

【会費振込先】
郵便振替口座
　口座番号：01590-5-11556
　加入者名：山口県作業療法士会
ゆうちょ銀行　一五九支店
　当座預金 0011556
　加入者名：山口県作業療法士会

お問い合わせ先：山口県作業療法士会事務局
TEL：083-920-0171

＊職場の異動などがある場合、振込用紙に変更事項の記入だけでは会員データが更新されません。異動届の提出をお願いします（県士会のﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞからも変更出来ます）

現在１年会費未納で会員資格喪失となります。早急のお振込みをお願いします。

年会費が施設負担になっている会員の方へ
３月下旬に令和８年度会費振込用紙の発送を予定しております。（コンビニ専用振込用紙）
年会費が施設負担になっている施設所属の方には、施設宛の請求書とともに郵便局専用の振込用紙を送付いたします。個人あての振込用紙は送付しません。施設によってルールがそれぞれのようですので、年会費施設負担の場合でも個人宛のコンビニ専用振込用紙の方が都合がよい場合は、１月末までに事務局までご連絡ください。
施設単位でお申し出ください。その場合は原則施設宛の請求書は発行いたしませんので、請求書が必要な場合は、その旨ご連絡ください。

休会申請についてのお知らせ

山口県作業療法士会では正会員の特例として休会の取り決めがありますが、この申請は以下の通りとなっております。申請希望の方は必要書類を期間内に提出する必要があります。
（令和８年度の休会希望の方は、令和８年１月 31 日までの届け出が必要です。）

＜休会理由＞
以下の理由の場合に休会の申請が可能です。
①出産・育児、介護　　②長期の病気療養　　③その他理事会において承認された理由
＜期間･回数＞
・４月１日から３月 31 日までの１年単位で、最大５回までです。
＜申請･条件＞
・次年度４月からの休会を希望する人は前年度の１月 31 日までに必要書類をそろえて申請し理事会で承認を得ることが必要です。
[必要提出書類…①休会申請書　②休会理由の根拠となる証明書(様式問わない)]
・休会しようとする年度の前年度までの会費が完納されていることが必要です。
＜義務の免除＞
・休会期間の会費納入の免除
＜権利の停止＞
・休会期間中、以下の権利が停止します
選挙権・被選挙権、総会での決議権、本会が主催する学会・研修会の参加、
スポーツ安全保険の加入、機関紙・学会誌・その他士会発行物の受取
＜会員履歴等の取扱＞
・休会期間は正会員としての在籍年数に算入されません
・休会期間中の研修受講履歴は無効です
＜復会＞
・休会延長の手続きを行わない場合は、翌年度から自動的に復会となります。
（休会を継続希望の場合は、再度、対象年度の前年度の 1/31 までに申請手続きを行う必要があります）
＊分かりにくい点・ご不明な点がありましたら、事務局へお問い合わせください

＊会員名簿配布について

会員名簿は、希望のされる施設・自宅会員の方のみへの配布しております。
来年度の会員名簿の配布を希望される方は、下記 URL、QR コードよりお申込ください。
今年度配布を受けた施設も再度の連絡をお願いします。
※回答締切日：R8 年２月末日
なお、会員在籍施設一覧は、次年度も作成して全施設に配布いたします。
配布は７月頃の予定です。
URL： https://forms.gle/3H8gwmdY6avSMmWD9
QR コード

会員名簿

＊それっちゃやまぐち　施設送付について

令和８年度のそれっちゃ送付希望施設の登録を行います。
本年度送付登録されている施設も再度の登録をお願いします。
送付を希望される施設は、下記 URL、QR コードより、送付希望のご回答よろしくお願いいたします。
※回答締切日：R8 年２月末日
URL：https://forms.gle/nXYgMSy8SJrU8vuD7
QR コード：

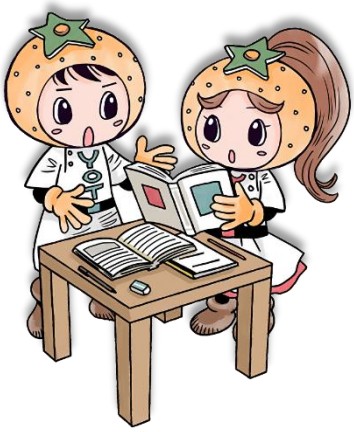
【重要なお知らせ】

～事務局より配信に関するご連絡～

皆様に登録していただいているアドレスに県士会より情報配信しておりましたが、スパムメールと判断されるなど送信エラーが発生し、皆様に情報をお届けできない状況が発生しております。
その為、この度、下記の配信専用アドレスからの配信を行うこととなりました。

配信専用アドレス　ymgc-ot@y-ot.jp

配信メールが迷惑メールボックスに入らないよう、ご留意ください。
また現在、様々な状況に対しての対策を含め検討中です。今後、配信方法に変更があった場合にはお知らせいたします。ご確認の程、どうぞよろしくお願いいたします。



一般社団法人山口県作業療法士会
令和７年度第４回理事会　議事録

議長:木下　書記:井上

日　時	令和７年11月25日(火)19:00～20:15	(場所):Zoom開催
出席者	理事:木下・中村・高山・原・赤木・池田・石原・井上・岩本・大田・岡藤・河野・木原・信久・鈴木・古谷・三宅 監事:小林 委員:田村・佐藤・天野・石丸・岡・角上・濱本	出席理事:17名
事務局	西野・笹川・田中	
事務員	児玉・岡崎	

文書・委員推薦依頼等報告
(R7/9/17～R7/11/18まで)

【県・市町より】
- 山口県
  長寿社会課:第７回山口県認知症カフェサミットの開催・後援依頼について
- 各市町
  【宇部市】5歳児健診における作業療法士の派遣について10/2　→上田OT
  【山口市】病院のリハビリ専門職及び地域連携室関係者と総合事業関係者による情報交換会
  【周南市】ケアマネジャーと同行訪問におけるリハビリテーション専門職の派遣について9/26　→西森OT、リハビリテーション専門職派遣依頼 →中村OT
  【下松市】講師派遣依頼　→西森OT　百歳体操 →中村OT12/4
  【山陽小野田市】高齢者保健福祉推進会議委員の推薦依頼　→永冨恵子OT
  介護給付適正化委員会　委員の推薦依頼　→濱本OT
  【光市】介護支援専門員研修会講師派遣依頼 →原OT
  【下関市】介護認定審査会委員数見直しに関するアンケート依頼
  【長門市】健幸出前講座　講師派遣の件　→安田OT

【その他】
・山口県特別支援教育研究連盟　ブロック研修会講師の派遣　→中村めぐみOT
・山口県薬剤師会　講師派遣依頼　→福島OT

＜各部からの報告・審議事項等＞

【事務局】
- 会員動向確認 11/18 現在会員数 973名（前回比－4）
  新入会者１名　→　承認
  退会５名
- 休会申請について
  次年度休会申請について，例年通り１月末締切で受け付ける（県士会ニュース12月号・1月号で周知）

【財務部】
- 補正予算の調整と承認

【事業部】

□一般公開講座企画実行委員会
- R8/1/25(日)に山口コ・メディカル学院にて実施第３回実行委員会を開催後にポスター及びチラシの配布予定．会議費の支出を承認．

□企画委員会
- 7/8に第１回企画委員会を実施．2月頃，第２回企画委員会を予定．
- 提出された意見に対し回答する．

【学術部】
- 定期研修会
  2回目:R8/1/24開催
  「作業療法面接で引き出した対象者の言葉や背景をどう捉えるか」
  講師:大野勘太　先生(東京工科大)
- 事例検討報告会
  1回目:10/26(日)参加者６名
  ※無事終了したが，参加者よりメールの一斉配信について，個人情報漏洩との苦情あり．
  →今後個別にメール配信(or BCC の活用)をするなど対応していく．
  2回目:R8/1/11(日曜)，徳山中央病院
  参加者:現在４名程度
- 小児分野勉強会 10/5
  参加者10名
- その他
  2026年１月に精神分野での勉強会も予定．
  順次アナウンスしていく予定．

□学会運営委員会（R7:山口地区担当）
- 9/28　JA防府とくぢ統括本部にて開催
  参加者:181名(実行委員，講師，ボランティア含む)
  12/8に引き継ぎ会を実施予定．
- 次年度学会準備委員会:引き継ぎ後に活動開始．開催場所はYICリハビリテーション大学校，時期は来年９月末～10月頭を予定．

□機関誌発行委員会
- 発行に向けて作業中

【教育部】

□臨床実習指導者養成講習会
- 参加申し込み26名(11/26時点)

□MTDLP研修会
・ 10/11に開催し，23名が参加.
・ 安田OTが新たに指導者となった.

【広報部】
・ 啓発グッズについて
新ロゴでノボリと卓上フラッグ各2本制作済
新ロゴに伴いクリアファイル・ポストイットのデザインを新たに検討中
県士会の専用バックパネルのデザインを検討中
ポロシャツデザインを検討中.
・ 9/25 山口新聞に作業療法の日の記事掲載
・ 10/15 第1回広報部会議(Zoom)実施
・ 11/29 啓発活動(レノファ山口ホーム最終戦)予定※山コメ1年生が参加
・ 12/18 進学フェアでの啓発活動に上岡OT，笹川OT，奴田原OT，高田OT，大田OTが参加予定

【渉外部】
・ JAF山口支部との協定を締結.

【地域共生社会推進部】
□地域リエイブルメント推進委員会
・ 研修会について
○第2回 12/20 対面(山口南総合センター)
池田 OTR による「動機づけ面接」に関する 1日研修会
(他職種含めて参加者募集中)
○第3回:6地区で対面またはハイブリッド形式にて実施
12月以降 各地区で調整中
・ 11/19 山口市委託事業 訪問型短期集中 振り返り会議
訪問担当者，3役，他2名参加(10名)

□認知症支援委員会
・ 12/13，認知症カフェサミットに県士会として上谷OT，鈴木OT，赤木OTが参加予定.

□運転と地域移動支援委員会
報告
・10/22 秋穂二島地域の安全運転教室講師対応
・11/8 JAF 山口支部ドライバーズセミナーシニアコース運営
・11/17 JAF 山口支部との業務協定締結式

予定
・第2回勉強会 12/21(日) 於:山口県立こころの医療センター
・OT協会 運転と地域移動に関する全国協力者会議(12/7) ZOOM
・JAF診療所 2月～3月

□こども支援委員会
・ 10/2，11/29 認定こども園ひらかわ内支援センターふれあい(山口市)より講師依頼あり 上田 OT参加
・ 10/2 宇部市5歳児健診見学
5歳児健診の現状について確認，助言の依頼あり 上田OT参加
今後は実施している5歳児健診を1次健診と位置づけ，気になるこども，ご家庭を抽出し2次健診を実施．その際，作業療法士の相談ブースを設置するなど検討中
・ アンケートの実施について
県士会員所属の全施設を対象にアンケートを実施中．回答は28施設(11/21現在)

□住環境福祉機器委員会
・ 11/7 日 第2回住環境福祉機器委員会運営会議開催
・ 自助具コンテスト出品者に対して生活行為工夫情報事業登録への誘いかけ，ホームページへ作品掲載を予定.
・ 次年度，自助具コンテスト開催については住環境委員で検討，また自動車改造・体験研修会を予定.

【制度対策部】
□介護保険対策委員会
「令和7年度 山口県介護保険関係団体フォーラム」
10/5(日)開催．士会からは15名参加.

【常設委員会】
□訪問リハビリテーション研修会運営委員会
・ R7年度 訪問リハ・地域リーダー会議
10/18(土)9:30～12:00 Zoom にて開催．山門OTが参加.
・ 山口県訪問リハビリテーション勉強会
12/10(水)19:00～Zoom にて開催予定． グループワーク ～業務を効率化するためにしていること～

□中国地区合同研修会運営委員会
・ 2日目の研修会のテーマが決定 「魅力ある県士会の未来を描く」ソリューションフォーカスを用いて考える研修会
現地参加29名 ZOOM参加5名

【特設委員会】
□地域保健総合推進事業委員会
・ 10/19(日)10:00～16:45 OT/PT協会主催
地域・職域での予防・健康づくりを目的とした保健活動を推進するための研修会
オンライン:(選任)斎藤，(聴講)田谷

□司法領域推進委員会
・ 10/3「矯正施設(美祢社会復帰促進センター)見学会」田谷，池田参加

【その他】
・ 来年度の協会の重点活動項目について
協会が提示した重点活動項目(地域共生社会，組織力強化，特別重点項目)を共有.

りじうら
～理事会裏話～

世間ではインフルエンザ・コロナウイルスが流行中の寒い時期ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？寒い時期はおでんや炬燵など冬にしか味わえない楽しみがありますね。冬の醍醐味を満喫しながらみなさん元気に過ごしましょう。今回の理事会もそんな寒い日の夜に開かれました。内容の一部をピックアップしてお伝えします。

令和７年 11 月 17 日、山口県作業療法士会と JAF 山口支部の業務協定締結式が執り行われました。県士会と JAF が業務協定を結ぶことはなんと全国初！の事で、当日は日本作業療法士協会から視察が来たり、NHK の取材が来たりと賑わったそうです。これから全国的に広がっていく活動になるかもしれません。山口県の OT は進んでいますね！12 月にも実践体験型の研修会が行われましたが、2～3 月には JAF と共同の活動企画もあります。県士会の「運転と地域移動支援委員会」の活動にこれからますます注目が集まる事でしょう。皆さん、ぜひご参加ください。

こども支援委員会からは今年度から介入を開始した５歳児健診についての報告がありました。宇部市とも県士会は協定を締結している関係であり、OT への助言依頼がきているそうです。5 歳児健診や学校教育への作業療法士の参画とその普及は日本作業療法士協会が進める地域共生社会５ヵ年戦略の一つです。取り組んだ活動が確実に成果に繋がっているのは、確かな専門性と熱量があってこそだと思います。こちらも今後の活動に期待大です！県内で発達領域の仕事をしている OT はまだまだ数が少ないのが現状です。でも実はやってみたい！興味関心はある！という OT は多いのでは？まずは研修会から参加してみてはいかがでしょうか？

以上で今回のりじうらは終了です。山口県内で活躍している OT の活動が紹介できて良かったです。ではまた次回お会いしましょう。

求人

山口県厚生農業協同組合連合会　小郡第一総合病院　作業療法士募集

【病院名】山口県厚生農業協同組合連合会　小郡第一総合病院
【所在地】〒754-0002　山口県山口市小郡下郷 862 番地 3
【募集人数】１名　　【勤務形態】正職員
【勤務時間・休日・給与等】当院 web サイト 職員募集要項をご参照ください
【ホームページ】https://ogoridaiichi.jp
【応募方法】随時受け付けております
【問い合わせ先】総務課　常信 迄　　TEL：083-972-0333

話のネタの
豆知識！

しっちょる？

皆さん、新年あけましておめでとうございます。
本年が会員の皆さんにとって、良い１年でありますように。
さて、新年初の知っちょるは、１月に因んだ豆知識です！

1. 二十四節気：1 月は「小寒→大寒」で“寒さが深まる流れ”が見える

二十四節気では、小寒（1 月 5 日頃）から始まり、続いて大寒（1 月 20～21 日頃）が来ます。これは暦の上で、寒さが本格化していく節目として扱われます。また「〇日頃」という表現は目安であり、年によって前後することがあります（“だいたいこの頃”を共有する暦）。

2. 成人の日：なぜ“第 2 月曜”で毎年日付が変わる？

成人の日は、祝日法の改正により平成 12 年（2000 年）から「1 月の第 2 月曜日」になっています。背景として、連休化によって余暇活動を充実させる目的が説明されています。以前は 1 月 15 日の固定日だった時期もあるため、世代間で話題にしやすいポイントです。

3. 1 月 7 日＝人日（じんじつ）の節句：七草粥は“健康祈願の文化の合流”

1 月 7 日は五節句の最初「人日の節句」で、「七草の節句」とも呼ばれます。この日に七草粥を食べる風習は、中国側の「人を大切にする日（人日）」の考え方や、若菜を食べて無病息災を願う要素、そして日本側にもともとあった若菜摘み等の風習が混じり合って定着した、という説明があります。春の七草（セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ）として整理されることも多いです。

4. 七草の「ホトケノザ」：道端のピンクの花と“別の植物”問題

春の七草に出てくる「ホトケノザ」は、一般にホトケノザと呼ばれる別種（ピンクの花が咲く植物）とは異なる、という説明が広く見られます。七草側のホトケノザは、コオニタビラコ（別名：ホトケノザ）とされます。つまり、通称が重なるために混乱が起きやすいポイントで、七草の“知ってるようで知らない”代表格です。

5. ④ 鏡餅：上に乗ってる“橙”は、ただの飾りじゃない

鏡餅は年神様を迎える供え物で、上の橙（だいだい）には「代々（家が続く）」の願いが込められている、と農林水産省の解説で紹介されています。さらに鏡開きでは、縁起を担いで刃物を避け、言い方も「割る」より「開く」を使う、と説明されています。“言葉選び”で縁起を守る文化、わりと日本の得意技です。

記事の掲載依頼について

☆　原稿締め切り日は定例で毎月第２日曜日としております。（変更の場合あり）
次回２月号（No.361）は**令和８年１月 11 日**が締め切りで、発行日は令和８年２月１日頃です。
記事掲載希望の方は下記 E-MAIL アドレスへ送ってください。

E-mail：yot_news@hotmail.co.jp

（書式は Word、フォントは明朝 10.5P 英数字は半角でお願いします。）

＊編集の都合上、レイアウト等一部変更させて頂くことがあります。ご了承ください。

☆　ニュースに対するご意見、ご感想をお待ちしています。

＜県士会ニュース編集委員会＞　**編集委員長：YIC リハビリテーション大学校　　石丸　拓也**

（TEL）0836-45-1000　（FAX）0836-45-1010

山口県作業療法士会
LINE 公式アカウント

山口県作業療法士会
公式 Instagram

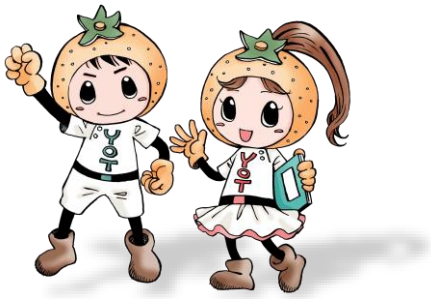
それっちゃデジタル版

【編集後記】

明けましておめでとうございます。
皆様新年いかがお過ごしでしょうか？
2026 年も、それっちゃを愛読広報誌のひとつとして皆様に情報をお届けできるよう、編集委員一同、精進致します。よろしくお願いします！

文責：岡本

一般社団法人 山口県作業療法士会
それっちゃ Yamaguchi
月１回発行
☐ 発行：山口県作業療法士会 ニュース編集委員会
☐ 編集担当：石丸　拓也（専門学校　YIC リハビリテーション大学校）
山本　隆次（医療法人　愛の会　光風園病院）
吉長　卓真（医療法人社団　宇部中央病院）
鍵本　州英（介護老人保健施設　寿光園）
岡本　春奈（リハビリデイサービスプラスワン）
☐ 印刷所：　社会福祉法人山口県コロニー協会経営　ワークショップ・山口　コロニー印刷



≪一般社団法人 山口県作業療法士会 事務局≫
〒753 - 0851　山口県山口市黒川 2572 - 1　メゾン西京 103
事務　児玉・岡﨑(TEL/FAX：083-920-0171　E-mail：ymgc-ot@ymgcot.onmicrosoft.com）
Web：http://www.y-ot.jp/